

諏訪実業高校 商業科・会計情報科

新教育課程・新コース制のスタート！

商業科・会計情報科では令和4年度入学生から新たなコース制を導入しました。

地域探究 コース

地域と直結し、地域の魅力を発信

マーケティングに関する分野を中心に学びます。授業で学んだ知識や技術を活かし地域に出て、実践的で探究的な活動を体験します。商業の幅広い資格取得や地域での活動を活かし、地域のために活躍できる人材を目指します。

1年次マーケティングでは、諏訪実業のオリジナル開発商品をテーマに、販売実習で使えるようなチラシづくりの実習などを行いました。

情報探究 コース

ビジネスにおける情報処理・活用

情報に関する分野を中心に学びます。コンピュータやネットワーク、プログラミングなどに関する知識と技術を身に付け、情報を活用した探究的な学習を行います。ビジネスにおいてICTを利活用できる人材を目指します。

1年次情報処理では、ビジネスの場面を想定した表計算ソフトウェアの活用に関する知識・技術や、業務を効率化するためのマクロプログラミングの基礎を学びました。

会計 情報科

会計情報によるお金や企業の理解

簿記会計に関する分野を中心に学びます。私たちの生活に欠かせないお金の知識や、諏訪地域の柱となるものづくりに関わる企業会計の知識・技術を身に付けます。経理、事務、金融などから地域に貢献できる人材を目指します。

1年次原価計算では、製造業における製品の原価を計算するために必要となる材料費・労務費・経費の原価の三要素や、原価計算の基礎的な仕組みについて学びました。

「第10回 諏実タウン」10月開催

商業科・会計情報科では諏実タウンという学習行事で、販売実習とキッズビジネスタウンを実施しています。今年度は10月22日(土)・23日(日)に開催しました。10回目という節目の年となります。営業課では、高校生が地域の名産・物産を仕入れて販売しました。プリンやカニ、牛肉などの販売しました。催物企画課では、部活動の発表や、商業科・服飾科の学習の展示、キャンドル・コースター・万華鏡づくり体験コーナー、ポッチャやバブルボールなどで遊べるコーナーなどを実施しました。フードサービス課では、屋台や食堂を用意し、高校生が考案したメニューを提供しました。キッズビジネスタウンすわでは、小学生を対象に就業についてや社会の仕組みを学ぶことのできるイベントを実施しました。

本年度は新たに、長野県福祉大学校と連携した保育園児との交流会や、他校を招待して合同販売実習を行ったり、上諏訪商店街や諏訪市、諏訪信用金庫と連携して、商店街や駅前交流テラスすわっチャオを利用したハロー！！キッズタウンかみすわを実施しました。

デュアルシステム教育

学校設定科目である「文化ビジネス研究」の授業で、学校で学んだことを企業での活動で実践し、活動を通じて感じたことを踏まえてまた学校で学ぶというデュアルシステム実習を行っています。2年目である本年度は昨年度に引き続き、以下の4社のご協力のもとに実習を行いました。

セイコーエプソン・・・ものづくりを通じた原価計算、ビジネス情報、マーケティングの学習。

みんなのテンハウ・・・食品工業での作業。働くことの楽しさ、難しさを感じる。社会人基礎力の育成。

森の工房あかね舎・・・革製品制作や商品販売。利用者さんとの交流。コミュニケーション能力の育成

RAKO 華乃井ホテル・・・SDGs を考えたコース料理の提案。食材探し、メニュー表作成、提供。



諏訪地域の未来を創造する若者の育成を目指し、「勤労観」を養い、広く「社会人力」「コミュニケーション能力」を身につけた職業人の育成を目的として教育活動を行っています。

検定試験への取組

商業科・会計情報科では資格取得に力を入れています。授業のみならず授業担当者による補習や自己学習に意欲的に取り組んでいる様子が見られます。

令和5年2月16日時点在校生の検定状況

○全国商業高等学校協会主催検定1級合格者数

・情報処理検定ビジネス情報部門	19名
・情報処理検定プログラミング部門	2名
・簿記実務検定	18名
・ビジネス文書実務検定	19名
・商業経済検定	12名
・ビジネス計算実務検定 電卓部門	25名
・ビジネス計算実務検定 珠算部門	1名
・英語検定	3名

○経済産業省 情報処理技術者試験

・ITパスポート試験	5名
------------	----

○日本商工会議所

・簿記検定2級	2名
・簿記検定3級	17名

○1級取得数

6種目取得者	1名
5種目取得者	2名
4種目取得者	2名
3種目取得者	8名
2種目取得者	12名
1種目取得者	28名

○3年生3種目以上

1級取得表彰者数	
6種目取得者	1名
5種目取得者	2名
4種目取得者	2名
3種目取得者	8名
計	13名

この他にも秘書検定やプログラミング能力検定、日商簿記初級、日商原価計算初級などの様々な検定試験を活用して生徒が目標をもって学習に取り組めるような指導をしています。検定試験指導に偏るのではなく、実際の企業の財務諸表分析をしたりマーケティングにおけるプレゼンテーションをしたり、プログラムの作成実習を行うなどもしています。